

2019年4月19日

筑波大学附属病院 脳神経外科・脳卒中診療グループに通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2016年1月1日～2019年12月31日の間に、発症または最終健常時刻から24時間以内に当院で血管内治療による再開通療法を受けられた急性期脳主幹動脈閉塞の方（他院で診断あるいはアルテプラーゼ静注療法〔脳梗塞に対する血栓溶解療法〕を受けられたのち、当院で血管内治療による再開通療法を受けられた方を含む）。

【研究課題名】急性期虚血性脳卒中の再開通療法における施設間医療連携に関する調査研究

【主任研究者】神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井 信幸
【当院の研究代表者】筑波大学医学医療系 脳卒中予防治療学講座 松丸 祐司

【目的】

- ・Drip & Ship 法（前医で診断/アルテプラーゼ静注療法を施行し、転院搬送先で血管内治療を施行する病院間連携様式）を活用した急性虚血性脳卒中に対する再開通療法の実態を明らかにする。
- ・急性虚血性脳卒中に対する再開通療法の実態を明らかにする。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療内容、治療経過

【試料・情報の第三者への提供について】

カルテ情報・資料は電子メールで研究事務局（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科）に送付され、解析されます。

【研究期間】2019年4月19日より2020年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開

示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

筑波大学附属病院 脳卒中診療グループ/筑波大学医学医療系 脳卒中予防治療学講座
担当医師：松丸 祐司、早川 幹人
電話：029 (853) 3220（脳神経外科）